

文化七尾



第62号



新年ご挨拶



七尾市文化協会

会長 橋元 道彦

協会員をはじめ市民の皆様

明けましておめでとございます

昨年は世界的なコロナ感染症蔓延の中、協会事業すべての面で未完のまま新年を迎えることになりました。

そんな中、コロナに負けるなど気合いを入れ、市民文化祭を中心に自主事業を含め二十余団体が、コロナ対策を第一にして発表会等を開催しました。そのプログラム挨拶文の一部を紹介します。

◆ 鈴英会（無観客）

負けまいとコロナ禍くぐり今日の舞

◆ ふるさと民謡まつり（民謡三団体）

コロナ禍にこの一芸で民謡まつり

五十路海山越えてゆかしき

◆ 市民文化祭（二十余団体）

文化祭コロナの風を封じ込め

◆ きものショー（自主事業）

コロナ禍に咲いた白菊きものショー（賞）等々

いずれもコロナ対策万全の会場設営でした。

このほかにも、日頃の練習や作品づくりにも関わらず、完成間近になってやむなく中止となった団体もあったと聞きます。心中をお察し申し上げます。

只今の情勢を考えますと必ずしも良好とは思えません。本年も「文化「耕す」をモットーに一步進んでいきましょう。

令和2年度 第15回

七尾市文化協会賞

長年の文化功労者として 表彰された皆様



【文化賞】
城山民謡会
江守 彪氏
えもり たける

昭和48年に、七尾城山民謡研究会（現・城山民謡会）の創設メンバーとして参画し、以来、会長職、企画立案者、唄い手として幾多の発表会において重責を果たす。この間、民謡太鼓部設立にも寄与する。



【文化賞】
七尾菊花会
高木 忠氏
たかぎ ただし

永年、菊花の栽培技術を研究し会員に教え広め、園芸文化の振興に寄与する。市のみならず県・北信越等の大会で常に上位入賞する。北信越大会「総理大臣賞」、北陸大会「環境大臣賞」8回等、他多数。菊花会理事長



【文化賞】
女声合唱団ドルチェマ
西村由紀子氏
にしむら ゆきこ

昭和57年の入団以来、合唱団のリーダーを務め、平成17年に団長となり現在に至る。その間、各種発表会への積極的な参加や小学校への出前講座等の対外的な活動を一層推進し、地域の音楽活動の振興に貢献する。



【功労賞】
田鶴浜将棋愛好会
寺井 文昭氏
てらい ふみお

昭和55年本会入会後、20余年の永きに亘り会長職を務め現在に至る。その間、会の運営や全能登大会、七尾鹿島大会等の開催に尽力し、県大会にも積極的に参加する。また、小中高生の育成活動を展開している。



【功労賞】
絵手紙サークル花・花
三浦 幸子氏
みつうら さちこ

平成15年のサークル結成から代表を務め、サークル運営に尽力すると共に、積極的に高齢者世帯への配食弁当の「掛け紙」用の絵手紙を描いたり、各種行事等へ作品を提供し続けたりし、地域文化の向上に貢献する。



【功労賞】
おこぜの会
深見 正子氏
おこせの会 ふかみ まさこ

平成20年に「おこぜの会」に入会し、七尾の伝統食文化をテーマに「祭りごっつお」「等伯京御膳」「畠山城山御膳」等の料理の創造的活動を推進し、食文化の継承発展に貢献する。食生活改善推進協議会七尾市会長・県副会長。



【奨励賞】
七尾まだら伝承会
赤尾 義則氏
あかお よしのり

県外各地の民謡等に触れ帰郷し「七尾まだら伝承会」に出会い、以後50年近く積極的にボランティア活動に参加すると共に、会員相互の融和と協調を図りながら会の運営に尽力する。七尾まだら伝承会相談役。



【文化賞】
一聖会
杉本 香鵬氏

書道歴47年で、市のみならず県・国の各種展覧会において数々の受賞をし、一聖会副理事長と活躍している。読売書法展「特選」2回、日本書芸院展「大賞」「準大賞」日本の書展「秀抜展」出品等、他多数。現代美術展無鑑査。



【文化賞】
能登ホトトギス探勝句会
松本 慶子氏

平成7年より、松本松魚氏に師事し、辻口静夫氏の薫陶を受け俳句の道に精進する。県俳文学協会俳誌「あらうみ」の選者を務めつつ、地域の俳句振興に寄与する。「ホトトギス」同人。北國新聞文化センター講師。



【文化賞】
七尾まだら保存会
大森 恪彦氏

19歳の時から、唄（音頭）や踊り手として舞台上に立ち「七尾まだら」の伝承普及に務める。また講習会や遠征指導等を通して熱心に後進の指導や全国発進に尽力する。県代表として全国青年大会（郷土芸能部門）出場。



【文化賞】
鈴英会
英 桃太郎氏

平成17年開講の英桃太郎「歌謡舞踏教室」を元に、平成22年「鈴英会」と改称し文化協会に加入する。常に芸のレベルアップを目指すと共に、各種行事への参加や年間20回以上のボランティア活動を主導し地域に貢献する。

イベント情報

事業名	日時	主催者・会場名	内容
加地 求 洋画教室展	3月8日(月) ～3月12日(金) 9:00～18:00 (最終日は15:00まで)	主催 加地求洋画教室 会場 のとしん ギャラリー かわも	教室に通う大人8人、高校生3人が前回2年前の展覧会の後に制作した風景画、人物画、静物画など約30点の作品を展示、発表します。ぜひご来場、ご高覧下さい。 入場料/無料 ☎52-1613 加地 求
第206回高学年例会 劇団うりんこによる 「キッドナップ・ツアー」	3月20日(土) 19:00～20:15 (開場 19:45)	主催 七尾子ども劇場 会場 ワークパル七尾	角田光代の児童文学作品を舞台化。小学5年のハルが夏休みにユウカイされる。犯人はだらしなくて、情けなくて、お金もない。ろくでもない父親。子どもから大人への成長過程でも体験する「自覚なき自立への一歩」を描いた作品。 ※会員制:小学4年生以上の親子 ひとり月々1,200円 ☎ tomoe@notonet.com 七尾子ども劇場事務局
第17・18回 石川県NOTO ピアノコンクール 入賞者演奏会	3月21日(日) 10:00～17:00	主催 石川県NOTOピアノ コンクール実行委員会 会場 七尾市文化ホール 大ホール	昨年12月に行われた石川県NOTOピアノコンクールの幼児部門をはじめ、小・中・高・大学・一般部門で入賞された方々の演奏会です。今回は延期となっておりました第17回入賞者演奏会も同時に開催致します。 入場料/無料 ☎53-0001 石川県NOTOピアノコンクール事務局 榎ミヤコ内 平野
しのぶえコンサート 笛の音に誘われて	5月23日(日) 15:00～16:30	主催 中島のぶえ愛好会 会場 能登演劇堂	篠笛の発表会・普及のためのコンサート 篠笛: 八木 繁 箏: 能村 利恵子 八木 粹久 打楽器: 山田 のぶ 八木 粹香 ギター: 恒田堂 八木 粹蝶 八木 粹寿 入場料/無料(整理券発行) ☎66-2878 中島あん庵

※諸事情により、行事・イベントは中止の場合があります。



「七尾市文化産業賞」文化賞受賞

山原 昌娃 副理事長

令和2年11月3日、「令和2年度七尾市文化産業賞」贈呈式が挙行政され、当協会副理事長 山原 昌娃氏が文化賞を受賞されました。

七尾市民文化祭では、テーマを設定した「きもの着付けショー」を毎年開催し、学院生の日頃の練習成果を披露しています。

また、着物文化を楽しむことを願い、誰でも参加できる「きものの集い」を主催し、県内外から多くの方々が参加するイベントとして発展させてきました。

着付け指導者の育成にも尽力し、令和元年には全国きもの指導者協会会長に就任。さらなる指導者育成に力を注いでいます。

50年近くの活動で着付けを通し、日本の伝統文化である着物の普及・発展・指導に邁進し、七尾市の伝統文化の継承に貢献されたことが高く評価され今回の受賞となりました。

令和2年度 七尾市文化賞・産業賞贈呈式



新しい仲間

令和2年11月に新しく入会した団体のご紹介です。

篠笛なかじま愛好会 (部門 邦楽)

代表 芦本 美枝子

平成29年から始めました。この年になって何か出来ることはないかと辿り着いたのが篠笛です。現在8人で活動し、半数が70歳以上です。

篠笛とは、

- ◎肺呼吸機能を良くする
- ◎認知症の予防になる(楽譜を覚え、右手も左手も使う)
- ◎口の周りの筋力アップ(誤嚥になりにくい)
- ◎右の脳の低下を防ぐ(笛の音だけを聞く)

健康にとっても良く、年齢関係なく出来、笛1本で身軽に移動もできます。

施設などにボランティアに行き、町に少しでも貢献できるようになれたら、と思っています。



七尾演劇鑑賞会

新会員大募集中!

七尾演劇鑑賞会は今から33年前『七尾で芝居を!』を合言葉に発足し、すでに130回以上の例会を七尾の仲間とサン・ライフプラザで観続けています。

観賞会は特に劇団との交流を大切にしています。例会開催にあたり、芝居をより楽しむために、事前に劇団より役者さんなどを招き、芝居の見所や苦勞したところなどを語っていただく事前学習会の開催や、終演後の役者さんとの交流会なども行っています。

演目としては、ミュージカルや、歌舞伎などの劇団公演を年間4本観ています。

どうぞ、私達と一緒に楽しい時を過ごしませんか?

・月会費; 2500円

〈お申込み・お問合せ先〉

〒926-0021 七尾市本府中町モ64 池田家別館

七尾演劇鑑賞会

火~土 12時~16時

電話:0767-52-0834 浅野



発行 七尾市文化協会

〒926-0021
七尾市本府中町モ64池田家内
TEL 53-0596 FAX 54-8550
Eメール: mail@bunka-nanao.jp
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員 坂井善久 山原昌娃 谷口忠 小谷内和央 内藤雄嗣 道海恵子
発行日 2021年2月26日

会員のみなさまへ

※『文化七尾』次回63号は令和3年7月2日発行となります。
原稿締切は、令和3年5月25日です。